

鐘の音

さいたま市男女共同参画推進センター
パートナーシップさいたま
広報誌vol.15

kane-no-ne

2008.7

特集	相談ホットほっとライン	2
	相談室のご案内/女性の悩み相談 相談室から	
	● 平成20年度市民企画講座実施団体決定	3
	● 『女・男フェスタさいたま』を開催しました	
	● あなたの再就職を応援しています ~ 再チャレンジ支援 ~	4
	● ただいま活動中 NPO法人「キャリアプラザ埼玉」	
	● 新編集員の紹介	5
	● 次期さいたま市男女共同参画基本計画の策定に向けて	
	● Book Navi 図書のご案内	
	● 施設・相談のご案内	6

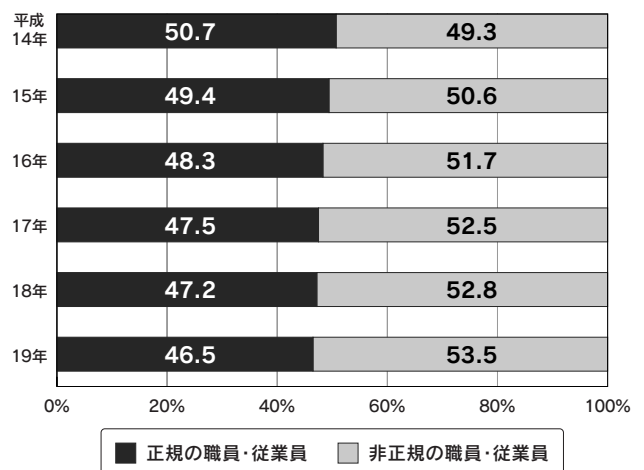
コラム 数字 46.5

この数字は、女性雇用者のうち正規の職員・従業員として雇用されている人の割合(平成19年平均)です。

右のグラフでもわかるように、景気の回復とは逆行して正規雇用の割合は減り続けています。これは、多くの企業が派遣社員やアルバイトを雇用するなど、雇用形態が変化してきていることと併せて、正規雇用の女性が20代後半から30代に結婚や出産を機に一旦仕事を辞め、その後再び就職する際には正規雇用されることが難しい現状を示しています。

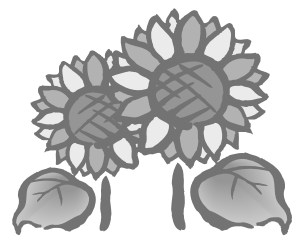
パートナーシップさいたまでは、再就職を目指す人に向けての講座の開催に力をいれています。
(P.4を参照してください。)

雇用形態別雇用者割合(女性)



総務省「労働力調査」から

相談ホットほっとライン



～ ひとりで悩んでいるあなたへ ～

「こんな心配事どうしたらいいかわからない…誰に相談したらいいの…」

と悩んでいるあなた、まず気軽にお電話ください。

秘密厳守、無料です。どうぞ安心してご相談ください。



自分自身のこと、家庭や職場、地域、ママ友などの人間関係、夫や恋人からの暴力など

電話相談



女性の悩み電話相談

女性の専門の相談員があなたの相談に応じます。どうぞ、「女性の悩み電話相談室」へお電話ください。

☎048-643-5813

10:00～20:00(平日) 10:00～16:00(土・日曜日・祝日)

※おひとり30分を目安にお話を伺います。



夫婦や親子のこと(離婚や親権、相続など)、女性への暴力、職場でのことなど法律上の問題でお困りのとき

予約



女性のための法律相談

女性の弁護士が相談に応じます。まずは「法律相談の予約」とお電話ください。

☎048-642-8107(予約受付)

毎月第2・4水曜日 13:00～15:30

※おひとり30分 年1回のご利用となります。



なんとなく不安、子どもや夫とうまくいかない、近所付き合いがうまくできない、職場の人間関係で悩んでいるなど

予約



女性のための心の健康相談

女性の専門の医師が相談に応じます。まずは「心の健康相談の予約」とお電話ください。

☎048-642-8107(予約受付)

毎月第4火曜日 13:30～16:30

※おひとり45分 年1回のご利用となります。

女性の 悩み相談

相談室から

ホッとする所を目指しています

相談室の電話のベルが鳴り出すと、相談室は一瞬緊張に包まれます。ドキドキしながら受話器を取ると、何から話したらよいかと戸惑っている様子や、慌てて一気に喋りだしたり、こんな相談でも聞いてくれるのかと念をおしたりと、様々な様子が受話器から伝わってきます。こちらも背筋を伸ばし、一言一句聞き漏らすまいと耳を澄ませるのですが、相談員がこんなにドキドキしているのだから、電話をかけてこられる方はもっとドキドキしているに違いありません。

近年、嫁姑問題から職場・隣近所・地域での人間関係、離婚や別居などの夫婦間の問題、男女間のトラブル、ママ友関係などなど身近な問題で悩まれているようです。それに、最近の社会問題である配偶

者や親しい人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)問題や、子どもへの虐待などは慎重に話を聞いて、今後の生き方について一緒に考えていきます。

また、リストラや夫が病気で働けなくなり、収入が断たれた日々の生活苦から借金問題などを抱え、どこへ相談したらよいかわからずに電話をかけてきてくださる方も多くおられます。このような問題は、専門的な説明が重要になりますので、関係機関の情報を案内するようにしております。

電話相談は、秘密厳守ですが、電話をするのは勇気のいる行動です。私たち婦人相談員はそういった人たちの気持ちを大事にしながら、一緒に問題を考え、よい方法を見つけるために話を伺っていきますから遠慮なく電話してください。一緒にホッとできたいですね。

(婦人相談員C)

市民企画講座 実施団体決定

パートナーシップさいたまでは、さまざまな分野で活動している団体が男女共同参画を推進する事業を企画・開催する機会を提供する場として、市民企画講座という形で応援しています。

今年度も選考により3講座が選ばれました。詳細は市報及びホームページでお知らせします。

多様な能力と経験を活かした市民の企画による講座に参加してみませんか!

「履歴書に書けるパソコン(エクセル)資格を取ろう」
— 日商ベーシック「データ活用」を目指して —

生涯学習コーディネイト協会

平成20年10月開催(全3回)

意外な話ですが、30~40代の主婦はパソコンが苦手な人が多いと聞きます。文字入力だけでなく、もう少しパソコンを便利に使って事務処理を効率よく終わらせたいものです。これから就職に向けてパソコン力をつけたい方のきっかけづくりにしてもらいたい講座です。試験にチャレンジする目標ができれば頑張る自分がいます。資格を取ることで自信が生まれます。

「自分のフィールドを広げて、もっと自分らしい生き方を探そう」
元気アップ講座

大宮つげの会(男女共生推進グループ)

平成20年11月開催予定(全3回)

プラチナ世代のチャレンジ、生き方支援!「男だから、女だから」の枠に縛られた社会で、男女双方が理解、協力しあい、共に自分らしく生きる男女共同参画の視点に気づいてもらい、自分なりのライフスタイルやコミュニケーションづくりを創り出すヒントを会得してもらうための講座です。家庭・職場・地域に波及して欲しいと願っています。中高年へのエールをこめて!



▲平成19年度大宮つげの会主催「気づいたときが変われるとき」の講座

「自分らしく働きたい」
女性のためのワークショップ

女性起業家の卵

平成21年1月開催予定(全3回)

女性の30代は人生の大きな分岐点。様々な生活スタイルの中で「自分らしく働きたい」と思っている女性に、将来の自分のために今何ができるか考えるヒント作りを行う講座です。一人一人が参加し、発言しながら進めることで、仕事をする上で必要なコミュニケーション能力を高めるとともに、同世代の女性の悩みや考えに共感し、今の自分を客観的に見つめ直す機会とします。

ひと ひと 女・男フェスタさいたまを開催しました

第7回女・男フェスタさいたまを「自立への道 男女共同参画の風を受けて」をテーマとして、男女共同参画推進団体連絡協議会とさいたま市の共同開催により、2月16日(土)・17日(日)、浦和コミュニティセンター(コムナーレ10階)で開催しました。



▲タケカワユキヒデさんの講演

参加団体は27団体、参加者は平成18年度に比べて約1.5倍もの950人にのびりました。

1日目の音楽家・タケカワユキヒデさんの講演では、「ビューティフル ファミリー ～夫婦・一男五女～」をテーマにしたお話に、皆さんが熱心に聴きいりました。また2日目のシネマ&トークで上映した「ふりてい・ウーマン」では、ごく普通のおばあちゃんたちの夢を追うエネルギッシュな姿に感動しました。

各団体が日ごろの活動の成果を発表する場として催した展示、ワークショップ、ステージ発表では、さいたま市における市民レベルからの男女共同参画推進活動を参加者にアピールすることができたのではないのでしょうか。

あなたの

再就職を応援しています

再チャレンジ支援

子育て、介護—さまざまな事情で仕事から離れたけれど、「また働きたい」と思っている方は少なくないはずです。特にさいたま市は、出産・育児をする主な年齢層である30～39歳の女性の労働力率が、全国と比べて低くなっています。そこで、パートナーシップさいたまでは再チャレンジ支援に力を入れています。

今回は、6月に行われたセミナーの報告と今後の予定をご紹介します。「再出発」を考えているあなた、ぜひ一度足を運んでみませんか！



▲ 講演では全参加者がチェック表をもとに発表しました

セミナーに参加してみました)))

大越 奈緒さん

栗原先生の講演は具体的な例を挙げたお話だったので、自分は今何が問題で何をすべきなのかが分かりました。今まで悶々としていた気持ちが明るくなって、積極的に行動してみようという気になれました。

高橋 純子さん

栗原先生の「短所は行き過ぎた長所である」という言葉や再就職の準備のチェックシートを参考にして、自己アピールできるようにしていきたいと思いました。

田宮 和泉さん

二日目の企業との交流会は、実際の人事担当の率直な意見が聞けたことが良かったです。意外と面接が人物重視ということが分かってびっくりしました。

Re・Beワークセミナー(再就職準備セミナー)

共催 21世紀職業財団 埼玉事務所／ハローワークプラザ大宮

【一日目 6月3日】

「自分と家族の幸せな未来のために再就職に向けてはじめての一步を踏み出そう!」と題して、ライフキャリア総研主筆/シニア産業カウンセラーの栗原知女さんによる講演が行われました。「再就職の準備は、どこまでできていますか?」というチェック表を使い、全ての参加者がその結果や課題を発表するという参加型の講演でした。その意見を踏まえながら、栗原さんが柔らかい口調で深く掘り下げた説明をされました。

【二日目 6月4日】

「企業との交流会・意見交換」として、民間企業から二人の人事担当者を招いて行われました。面接のプロセスや質問内容など「人事の目」から社員の採用について説明され、参加者はさらに踏み込んで、再就職に向けてさまざまな質問をしていました。

※このセミナーは、再就職活動中の方がハローワークに失業保険支給申請をする際の条件である「就職活動」の一環として認められます。

《今後のセミナーの予定》

- 再就職準備講座(仮)
- 女性の再チャレンジ支援セミナー(仮)

“再チャレンジ”を考えているあなたの背中を後押しするセミナーにするために、目下企画中です。

詳細が決まり次第、市報やパートナーシップさいたまのホームページでお知らせいたします。どうぞご期待ください。

「職業相談」は主要な活動として大事に育んでいきたいと思っています。会員個々が「自分を磨く」という目標に向けて自己研鑽に励むと共に、研修を定期的に実施しています。これから、「人と向き合う仕事」の重さ、深さを謙虚に受け止めながら活動してまいります。



▲ 埼玉の方々のために活動中です

ただいま活動中
NPO法人
「キャリアプラザ埼玉」
パートナーシップさいたまで活動中の
男女共同参画グループを紹介します

キャリアプラザ埼玉は埼玉の地で、埼玉の方々のために「コンセプト」に、(独)雇用・能力開発機構のキャリアコンサルティング養成講座の修了生を中心として平成17年2月に発足しました。会員は産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、心理相談員、社会保険労務士、研修講師など32名(男20・女12)。数名を除いても現役企業人です。職業人としての豊かな経験とキャリアによる専門能力を活かし、地域の方々に、「充実した職業生活の実現に向けて必要な知識・情報・スキル習得へのお手伝いをしたい」と、会員一同は強く念じて活動に励んでいます。主な活動として、「パートナーシップさいたまの市民企画講座」、「埼玉県男女共同参画推進事業」や、大学でのキャリア関連の講座などを実施しました。中でも、パートナーシップさいたまで行っている「職業相談」は主要な活動として大事に育んでいきたいと思っています。会員個々が「自分を磨く」という目標に向けて自己研鑽に励むと共に、研修を定期的に実施しています。これから、「人と向き合う仕事」の重さ、深さを謙虚に受け止めながら活動してまいります。

新編集員の紹介

平成20年度、「鐘の音」vol.15から新たに5名の編集員が編集に参加しています。新編集員から「鐘の音」の編集にける意気込みを一言ずついただきました。

安藤ちか子さん

自分に最も身近な地域の中で自分を成長させてくれるものを探しておりまして、今回、「鐘の音」の編集員をさせていただくことになりました。学びながら気づきを得て、色々な情報を発信させていただきたいと思います。

飯塚喜一郎さん

4月から、新編集員として参画させていただいております。昔から書くことが多い職場にいましたが、この「鐘の音」は素晴らしいなと感じていて、何かのお役に立ちたいと今から意気込んでおります。

土屋多万緒さん

昨年『暮らしの女性学』等の講座を受講し、今迄漠然と考えていた女性の生き方、夫や家族・社会との関わり方等を改めて認識し、学びから気づき、行動する事の大切さを痛感しました。そんな経験や情報を発信できればと思っています。

樋山睦子さん

今回、「鐘の音」の編集に携わることになりました。編集される過程、記事集めなど未知だったのですが、及ばずながら地域の方々・友人・若い人同士の一つの話のヒントになるようにと願いを込めて発信していければと思っています。

武藤勝美さん

再就職支援、男女共生など当該センターの所管のことは、今、喫緊の社会問題です。広報誌は、市政と市民を繋ぐ“窓”です。参加させてもらうに際して、分かり易い誌面をモットーにしたいと考えています。

次期さいたま市男女共同参画基本計画の策定に向けて

今年度で「さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン」の計画期間が終了するため、昨年5月、市長から、さいたま市男女共同参画推進協議会に次期基本計画について諮問を行いました。これを受けて、協議会において次期さいたま市男女共同参画基本計画はいかにあるべきか審議が行われ、去る3月10日、市長に提言書が提出されました。

さいたま市では、この提言書の内容をふまえ、平成21年度から取り組んでいく、新しい基本計画を策定していきます。

※詳しくは男女共生推進課(電話 048-829-1231)へ



▲ 市長へ提言書を手渡す協議会 矢澤会長

Book Navi

情報・資料コーナーで貸し出している図書のご案内です。

『迷走する家族』

山田昌弘著 2005年 〈有斐閣〉

これからの時代、ひとつの家で親・子・孫と違う世代が仲よく暮せるだろうかと迷っている人におすすめの本です。

家族の形はその家々によって、変わるのが早かったり遅かったりと色々です。しかし、ひと昔前までの親密な家族関係から核家族の形に変わり、家族であっても見捨てられる時代です。さらに、これからは従来の家族にすぎるか、新しい家族を試すかを選び、それを実現出来る人出来ない人、家族というものを持ちたくても持てない人などと、変化するのが予想できないのが現実です。家族であっても個人化が進み、自由平等の教育を受け、気がついたら子は子、親は親と別の人生を歩んでいます。

人との出会い、仕事との出会い、職場の受け入れ体制の複雑さなど、世の中の流れをとらえながら「家族」という定義が変わりつつあることを教えてくれる本です。

(樋山 睦子)

『男が家事をしない本当の理由 ★幸せな家庭の条件★』

淵上勇次郎著 2005年 〈東京図書出版会〉

市内公民館だよりに「男性向けの料理講座」の参加者募集があった。行政でも男性が家事をすることを奨励しているようだ。まえまえから男性の家事について関心があったので、本書を手にした。

通読して第3章の中の見出しに「家事は中性労働である」とあるが、料理・クリーニングなど中性労働というのだろうか。

家事にかかる時間(第7章)を掲げてあり、参考になった。「家事は必修科目」(第3章)では、「学校でも数学や国語と同じように(中略)炊事・掃除・洗濯など家事全般についてもひと通り教えた方がいい」と述べられているが、そのとおりだと思った。さらに「親の行動は、子の未来の姿を映し出す<鑑>です。」(第3章)は重要なことである。普段、父親が家事をやっているれば男の子は成人して家事をやるようになる、そう思っているの、そのとおりだと思った。

(武藤 勝美)

施設のご案内

	パートナーシップ さいたま	ひとひと 女・男プラザ
場所	大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ3階	緑区中尾1440-8 プラザイースト3階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館 時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館 日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始
施設の利用	男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。 (パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと 女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)	
情報・資料コーナー、交流コーナー	本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。 閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用 できる交流コーナーもあります。	
お問い合わせ	048-642-8107	048-875-9966

相談のご案内

● 女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-643-5813
月~金/10:00~20:00 土・日・祝/10:00~16:00	
ひとひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9653
金/10:00~17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎ 048-829-6129
月・火・水・金/10:00~17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎ 048-840-6132
月・水/10:00~17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎ 048-790-0158
月・水/10:00~17:00	

● 法律相談(予約制) 女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第2・第4水曜日/13:00~15:30	
ひとひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9966
第1・第3火曜日/13:00~15:30	

● 心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第4火曜日/13:30~16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほっとたいむ

早いもので、もう七夕も過ぎました。歳の故で、自分でテーマを決めて、亀のようにのろのろと動いている昨今ですが、この「鐘の音」で採り上げるテーマは身近なことなのに、いさやか難し。

対象になる幅が広くて、捕らえる人の性別・年齢・立場などによって掴み方が千差万別なことがあるからかもしれません。

と云うこと、足を踏み込んでしまったわい、などとの感想が去来する中で「頑張ろうぜ。もっと勉強しようぜ」という別の気持ちがちが台頭して来るのは有難いこと。

休まない亀になろうよ。だって人として一番大切なことを取り扱う山の中にいるのだから、とは編集員一年生の告白なのです。

（飯塚喜一郎）

最近、自宅近くのお寺で「坐禅の会」がある事を知り、早速休日の朝、参加させて頂きました。姿勢を正し、呼吸を整え、目と口を軽く閉じ、息を深く吐いて吸い込むことに、頭の中で一つずつ数を数える…時折雑念が頭をよぎることもありましたが、窓の外から聞こえてくる鳥のさえずりや、すがすがしい空気を肌を感じながら、静粛な空間の中で、心を落ち着かせ、自分自身の存在を感じることで、できる貴重な時間を過ごすことができました。

日頃、周囲の雑音や固定観念に捕らわれ過ぎて、自分の意見や感情を見失いがちなところが多々ありますが、時には立ち止まって、ゆっくり自分と向き合うことの大切さを実感する今日この頃です！

（土屋多万緒）

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

《誌名「鐘の音」》
大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.15 2008年7月25日発行
＜編集・発行＞

さいたま市男女共同参画推進センター パートナーシップさいたま
編集員/安藤ちか子・飯塚喜一郎・土屋多万緒・樋山睦子・武藤勝美
〒330-0854さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp
7・11・3月発行(年3回)

